

宇治市植物園見学と黄檗山満福寺参拝

日時 令和4年5月6日（金）
集合 宇治市植物園入口 10:15
行先 宇治市植物園見学と黄檗山満福寺参拝
参加者 11名（実習生2名を含む）
天候 晴れ

10:30 ~ 12:30 宇治市植物園見学 及び 昼食
* 10:30 ~ 11:20 宇治植物園職員さんによる案内
* 11:20 ~ 12:30 園内自由散策と昼食
12:35 ~ 13:15 路線バスでJR黄檗駅へ
13:30 ~ 14:30 黄檗山満福寺参拝
14:30 解散（JR又は京阪黄檗駅へ）

1. 宇治市植物園

宇治市植物園は、平成8年にオープンした植物園。

園内には、熱帯・亜熱帯の植物が楽しめる「温室」、「花と水のタペストリー」、「花木園」などさまざまな施設を整えており、四季折々の花や緑が楽しめる。

最初に園内の職員さんによる案内で、「スパイス植物の展示」「桜草の展示」「春のゾーン」「ハーブ・有用植物園」などを見学し、その後、園内を自由に見学し昼食をとった。

春のゾーンでは、満開の梅花ウツギや新緑の枝垂れ桜の大木等を見学した。

ハーブ・有用植物園では、ラベンダー、リンゴの匂いがするサザンウッド、イスバリダ等を見学するとともに、葉の匂いを嗅いだり、葉を試食した。



スパイス植物の展示



梅花ウツギ



アマ



ラベンダー



サザンウッド



イスパリダ



インドオダイジュ (温室)



トラの絵柄



宇治市植物園

2. 黄檗山萬福寺

黄檗山満福寺は、1661年に中国僧「隠元隆琦（いんげんりゅうき）禅師」によって開創された寺。当初は「臨済宗黄檗派」と称していたが、明治9年宗派を黄檗宗と改宗した。日本でいう「禅宗」は、臨済宗、曹洞宗、黄檗宗の三宗に分類されが、黄檗宗は他の二つの宗派と異なり、中国的な特徴を色濃く残している。萬福寺の建造物は、中国明朝様式を取り入れた伽藍配置で、正面一間を吹放しとした主要伽藍を中心軸上に置き、同じ大きさの諸堂が左右対称に配されている。また、2月と8月を除く毎月8日に布袋尊の縁日に因んで「ほていまつり」が開催されている。その他、中国風精進料理の「普茶料理」も有名。

本尊の釈迦牟尼仏や大王殿に祀られている「弥勒菩薩（布袋）坐像」等を参拝するとともに、黄檗山満福寺の建築様式の特徴である、「卍字崩しの勾欄」「黄檗天井と呼ばれるアーチ形の天井」「円形の窓」「扉に彫られた桃符と呼ばれる桃の実形の飾り」「日常の行事や儀式の刻限を報じる“開ぱん””雲版“”等を見て回った。



総門



布袋坐像



回廊



法堂（卍字崩しの勾欄・丸窓）



桃符



三門前



開ばんの前